



牧之原市議会議長
はらぐちやすゆき
原口康之

議会と行政が健全に補完し合い
協働と建設的な提言を

明けましておめでとうございます。令和8年の幕開けにより、市民の皆さまが輝かしい春をお迎えになったことを心より喜び申し上げます。昨年を振り返ると、9月5日に市内を襲った国内最大級の竜巻により、細江地区を中心に大きな被害が発生しました。市内で被災された全ての皆さま、負傷された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。市議会としても発生直後から被災者の皆さまに寄り添い、可能な限りの支援と対応を行ってまいりました。今後も復旧・復興に向けて市と連携し、一層尽力してまいります。

また、昨年10月に行われた市議会議員選挙は市政史上初の無投票となり、16名の議員が当選しました。この結果は議員のなり手不足や、適正な議員定数といった課題を改めて浮き彫りにしました。そうした課題に正面から向き合い、持続可能な議会運営を実現していく必要があります。新たな体制の下、正副議長や各委員会委員、一部事務組合の議員を選出し、本格的な議会活動が始まっています。市民の皆さまの信頼に応えるため、より開かれた透明性の高い議会運営に努めてまいります。

本市は現在、「人口減少」「少子高齢化」「地域経済の縮小」という課題により転換期を迎えています。議会は単に行政の監視役だけでなく、市民を代表する立場から政策立案・提言する役割を果たさなければなりません。対立より協働を重視し、批判より建設的な提言を行う姿勢で、議会と行政が健全に補完し合う二元代表制を実現してまいります。さらに、議会の健全な運営を維持するため、議員のなり手不足という深刻な課題に取り組むとともに、議員定数や報酬、会派制を含めた議会運営の見直しを進めてまいります。併せて、議員の倫理意識の向上やハラスメント防止の徹底、議会のBCP（事業継続計画）の整備などを推進し、市民の皆さまから信頼される風通しの良い議会を目指してまいります。市民の皆さまにおかれましても、議会・議員活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、今年が希望に満ち、安寧な年となりますよう祈念するとともに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



牧之原市長
すぎもと きくお
杉本基久雄

災害に強く、持続性と魅力のあるまちづくりの実現へ

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心から喜び申し上げます。昨年9月の「令和7年牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害」においては、被災された皆さまが一日でも早く安心した生活を取り戻せるよう、県と協力して応急住宅の提供、被災した農業施設や森林の復旧、中小企業者や個人事業者への支援など、生活再建に向けて被災者に寄り添いスピード感を持った対応を心がけています。また、昨年12月に「牧之原市ささえあいセンター」を社会福祉協議会榛原事務所内に開所し、孤立防止などのための見守り支援や日常生活上の相談を行ったうえで、被災者を関係機関へつなぐなどの支援を行っ

ております。今後は、災害に強いまちづくりを進めるため、竜巻災害を踏まえた地域防災計画の見直しを行うとともに、榛原地区に防災拠点の整備を進め、市民の皆さまの安心・安全を確保する取組を着実に進めてまいります。さて、昨年、市制施行20年を迎え、まちづくりにおける最大の課題である少子化と人口減少に対し、第3次総合計画を基に、「重点戦略・プロジェクト」を着実に推進し、にぎわいの創出や住む魅力の向上に取り組むことで、持続性のあるまちづくりを実現していくこととしています。東名高速道路相良牧之原IC北側地区の開発では、昨年9月末に造成工事が完了し、今後は大型商業施設などの建築計画の具体化と事業着手

に向けて、事業者と連携して取り組み、新たな拠点を構築してまいります。また、市内小中学校のうち10校を9年制の義務教育学校2校に再編し、「子どもたちが学びたい、保護者が学ばせたい」と思える学校づくりに取り組んでいます。令和8年度からは、開校準備を行う部署を教育委員会に設置し、新しい学校の運営や教育内容などを市民の皆さまや教職員とともに検討、試行し、魅力ある学校づくりに取り組んでまいります。今年も市民の皆さまとの対話を重視し、魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年
2026年 年頭のごあいさつ

さがらサンビーチの初日の出（以前のもの）